

新 刊 紹 介

編 集 部

□『日本の固有植物』. 加藤雅啓・海老原淳編. 2011年3月20日発行. 総頁数 503. 定価 3,800 円+税. 発行所: 東海大学出版会.

内容は I. 固有植物の生物学 II. 日本の固有植物図鑑 III. 日本固有植物目録 IV. 日本固有植物分布図の 4 部構成である。日本固有植物目録 (種子植物、シダ植物、コケ植物) には種数 1,862、亜種数 108、変種数 989 が記載・解説されている。固有植物分布図をみれば、北海道に自生する固有種・亜種・亜変種を拾うことができる。

最近の出版で「北海道の花 固有植物リスト」ファウラ fauna 2006. No.11 で北海道の固有種がまとめられている。表 1. 固有種 72、表 2. 亜種・亜変種・品種 50 がリストされている。上記の本には「ファウラ」に記載されていない固有種もあるので、比較する上で重要である。例を上げると、2007 年新種のリシリハタザオ、ソウヤレイジンソウ、ソウヤキンポウゲ、2008 年新種のアッケシアザミ、ソラチアオヤギバナ、クロテンシラトリオトギリが新たに北海道固有種になる。

□『日本カヤツリグサ科植物図譜』. 星野卓二・正木智美著、西本真理子 (画). 総頁数 778. 2011年3月25日発行. 定価 20,000 円+税. 発行所: 平凡社.

この本の前進は「岡山県スゲ属植物図譜 (2002)」と「岡山県カヤツリグサ科植物図譜

(2003)」である。この岡山県版から南西諸島や小笠原諸島を含む日本全域のカヤツリグサ科植物図譜の出版になりました。スゲ属が約 300 分類群、あとの 25 属約 200 分類群が美しい線画で描いた図譜である。スゲ属の図鑑では「日本のスゲ」、勝山輝男著、2005 年、文一総合出版がある。この本は写真図鑑なので、上記の図譜と併用するとスゲ属の同定はかなり調べ易くなります。

一点気になる種があったのですが、クロアブラガヤ属でアブラガヤとエゾアブラガヤは同種との考えがあるが、この図譜ではアブラガヤ *Scirpus wichurae* Boeck、エゾアブラガヤ *Scirpus lushanensis* Ohwi とし、両種は区別できるとしている。ところで、エゾアブラガヤの学名ですが YList では *Scirpus lushanensis* Ohwi はチュウゴクアブラガヤの synonym としてあり、エゾアブラガヤは *Scirpus asiaticus* Beetle となっています。

□『北海道のアカネハンドブック』. 松下 (宮野) 和江・高田令子 2011年4月1日発行. 定価 800 円 (税込). 発行所: ニムオロ自然研究所.

A6 版のポケットサイズでこのハンドブックシリーズの 4 冊目である。合弁花類のアカネ科を図解と豊富な写真で解説している。特に同定検索のポイントを図解しているので、分かり易いです。

かなり希な種と思われる、ヤエムグラ属のヒメヨツバムグラ、ヤツガダケムグラが解説されている。帰化種として一般的な図鑑に載っていない種は、ヒナソウ属のヒナソウ、ヤエムグラ属のトゲナシムグラ、シラホシムグラ、ミナトムグラが紹介されている。

この本を扱っているのは札幌市内では「エコ・ネットワーク」札幌市北区北9条西4丁目エルムビル8F、Tel. 011-737-7841、「ジュンク堂書店」などです。または、発行所に連絡すると送ってくれると思いますので、根室市東梅249-1、ニムオロ自然研究会、Tel. 0153-25-3905です。

□『遠軽町の植物ハンドブック』林 廣志著. A5版. 総頁数115. 2012年3月20日発行. 発行：林 廣志.

著者は北海道オホーツク管内の遠軽町の植物について調査をしました。その手法は自生する植物の乾燥標本を作成することです。2003年秋より調査を始めましたが、2005年10月に遠軽町・生田原町・丸瀬布町・白滝村の4町村が合併し、新遠軽町が誕生しました。そのためもあって、2011年まで調査が継続され、8年間で817分類群(亜種・変種・品種・雑種を含む)の植物を採集することができました。この内、著者が描いた295種のイラストで遠軽町の植物を紹介したガイドブックで

す。なお、採集した植物標本一組は北海道大学総合博物館標本庫に収蔵しました。

この本は市販されていないので、希望する方は1冊分210円の切手を貼った返信用の封筒で〒099-0414紋別郡遠軽町南町1丁目・林 廣志宛に、請求して下さい。無料ですので、数には限定がありますことをお含み下さい。

□『焼尻島 花／木／実のさんぽみち』佐藤美穂子・小野宏治・磯野直編. 総頁数117. 2006年4月15日発行. 定価880円(税込). 発行所：焼尻エコベースプロジェクト.

A6版のポケットサイズで、約90種の花・木がカラー写真で解説されています。本の末には焼尻島に生育する365種の「焼尻島維管束植物目録」が記録されています。

この目録の出典は、志田祐一郎ほか(2006)、「焼尻島の植物」、利尻研究第25号とします。利尻研究はウェブサイトで閲覧ができますので、興味のお持ちの人はアクセスしてみてください。

この本は焼尻島のお土産屋さんか民宿でしか置いていないようです。一応、購入を希望する人のために発行所を紹介します。苫前郡羽幌町大字焼尻字東浜153、焼尻エコベースプロジェクト 磯野 直。Tel. 01648-2-3511. 民宿「磯乃屋」内。(松井 洋)